

いよいよ8月に入り破産者野口真紀の第3回債権者集会が開かれる8月28日が近づいてきた。前回の債権者集会は大胆にも欠席し、佐々木直人という若いツバメとスポーツジムでゴルフを楽しんでいたマキリンだが、今回は果たして出席するのだろうか。

あると法律事務所の顧問先で房園博行氏という債権者がいたことがわかり利益相反だという理由で代理人を降りた服部弁護士だが、今度はどの立場で出席するのだろうか。

債権者である房園氏の代理人としてであろうか。

この房園氏であるが、債権者破産の申立人という可能性も十分にありうる。理由として、あると法律事務所というのは長年にわたって房園氏がクライアントであり、その紹介で野口真紀の代理人を務めていたからである。

この房園氏とマキリンとの関係はというとUR南青山における取引相手であり、PAG河合からの多額の資金がKSGというトンネル会社を経由して房園氏のビーピーワンに流れている。このビーピーワンから複数の反社勢力に金が流れているのだから、マキリンと房園氏との癒着というか深い関係なのは間違いない。

敬天新聞から房園氏に対しての質問状や取材依頼に全くの返答無しという状況からして、マキリンの偽装破産への協力と反社勢力への資金還流は間違いないであろう。

マキリンに対する記事が事実無根であると反論してきた横井弁護士であるが、今度の債権者集会にはマキリンの代理人として出席するのであろうか、非常に楽しみである。

また、マキリンが代表を務め会社を精算した南青山ゼストワンであるが、そこを利用した資金の流れに、マキリンの資産隠しや反社勢力への金の流れも新たな事実として出てきた。マキリンのアパレル時代の会社であるサンフランシスコエンタープライズが今回破産に至った理由も明らかになった。

ここで一番の焦点は、PAG河合からマキリンの関与するどの会社に12億もの多額の手数料が流れたかだ。

未だ宅建業の免許を持ち、マキリンが代表を務めているリアムインクやリアムホールディングスか、あるいは実姉日高理恵が代表を務めるグロスパートナーズなのか。

追求すべき点は多い。

仮に精算した南青山ゼストワンであるならば、全てPAG河合と債権者でもある房園氏をも含めた完全な出来レースであり犯罪である。

管財人の高島先生、国税そして警視庁、金融庁の皆様方
ぜひこの点に注目していただきたい。